

科目名	専門演習ⅡB	
担当者	藤吉 和史 / FUJIYOSHI, Kazushi	
科目情報	法律 / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 4年次	
科目概要	授業内容	刑法各論Ⅱで勉強したテーマについて、さらに理解を深め、現実の裁判で展開される理論を知り、現代社会における刑法の解釈・適用を理解する。発表者は自己の理解を他のメンバーに提示し、全員でディベートをおこなう。
	到達目標	発表者は、例示のテーマから選択・研究したテーマで報告・発表することでプレゼンテーション能力を身につけ、他のゼミ員は、ディベートを通じて論理的な思考力と説得力を養う。
授業計画	発表テーマの例 (1) 社会的法益に対する罪 (2) 放火罪 (3) 通貨偽造罪 (4) 文書偽造罪 (5) 有価証券偽造罪 (6) 国家的法益に対する罪 (7) 公務の執行を妨害する罪 (8) 公務執行妨害罪・職務強要罪 (9) 競売等妨害罪・談合罪 (10) 犯人蔵匿罪 (11) 偽証罪 (12) 虚偽告訴罪 (13) 汚職の罪 (14) 職権濫用罪 (15) 賄賂罪	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	テキストとレジュメを復習すること。
使用教材・参考文献	<b>【教】</b> 自分の持っている刑法各論のテキスト <b>【参】</b> ポケット六法（有斐閣）、ディリー六法（三省堂）、岩波基本六法（岩波書店）、有斐閣判例六法などのうち、1冊。	
成績評価方法と基準	研究テーマを60%以上理解し、発表を適切におこなったと認められた者を合格とする。最終的にそれをゼミ論文として作成・提出し、成績評価を受ける。	
備考	必ず六法を持参すること。とくに国家試験・公務員試験・資格試験をめざす人は判例六法をお勧めします。	